

2015年12月1日発行

豊能糖尿病地域連携クリティカルパス検討会

# 薬剤師会アンケート結果

(抜粋)

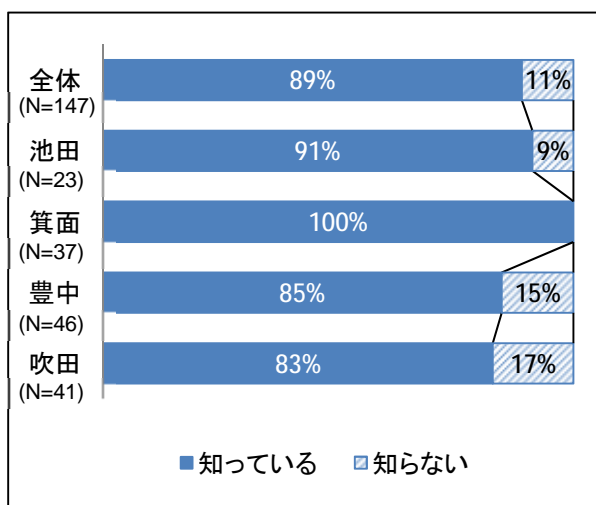
## TOPICS:

• 糖尿病連携手帳を知っていますか？

• 糖尿病連携手帳発行経験のある薬局は40%

9月に豊能圏域四薬剤師会のご協力のもと実施しました「糖尿病パスに関するアンケート」にご回答ありがとうございました。343薬局に配布し、147薬局からご回答いただきました。結果の集計ができましたのでご参照ください。

## 糖尿病連携手帳を知っていますか？



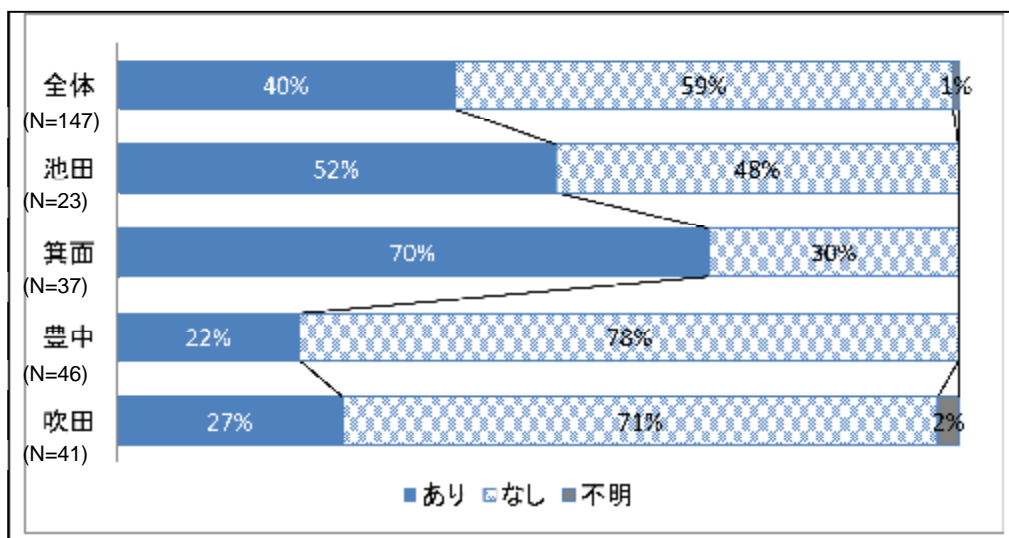
131薬局(89%)が「糖尿病連携手帳を知っている」との回答でした。また、119薬局(81%)が糖尿病連携手帳を見たことがあると回答されました。

非常に多くの施設で糖尿病連携手帳を知っていたことが分かりました。

## 糖尿病連携手帳発行経験のある薬局は40%

糖尿病連携手帳を発行したことがありますかという質問に「ある」と答えた薬局は、59薬局(40%)ありました。

薬剤師会別では、池田市及び箕面市薬剤師会が発行経験のある薬局が多い結果でした。



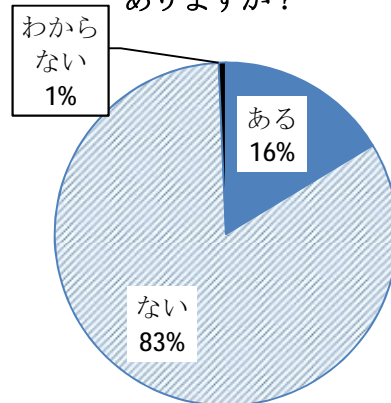
## お薬手帳といっしょに持って行ってね！



患者さんが糖尿病連携手帳を持参されるかという質問に、「持ってこられる」と答えた薬局は、24 薬局(16%)にとどまりました。また、「手帳に記載したことがある」薬局は 14 薬局(10%)でした。

今後もより一層、「受診の時はお薬手帳と一緒に糖尿病連携手帳を持って行ってね。」と声かけをお願いします。

患者さんが糖尿病連携手帳を持参されたことがありますか？



糖尿病連携手帳はお薬手帳と一緒に持って行って！

糖尿病連携手帳の活用方法は？

## 豊能糖尿病地域連携クリティカルパス

### 検討会への協力

26 年度に配布しました「11 月 16 日は世界糖尿病デー」のポスターを活用されましたか？という質問に 95 薬局(65%)が「活用した」と回答されました。

また、過去3回のアンケートにご協力いただいた薬局が、71 薬局(48%)ありました。今後とも、ご協力お願いいたします。

## 患者様、そして医療従事者も理解を・・・

自由記載欄には以下のようなご意見をいただきました(一部抜粋)

### 合併症予防のため薬局でできることは？

- Ⅰ 糖尿病の重症化、合併症の予防のため糖尿病連携手帳を活用していきたい
- Ⅰ 糖尿病で新たに薬局に処方箋を持ってこられる患者が増えている。再度、薬局での手帳交付の啓発をすればよいと思う。

### 一方、このようなご意見も！

- Ⅰ 患者さんが糖尿病を深刻にとらえていない。
- Ⅰ 薬局での活用方法がいまひとつわからない。
- Ⅰ 書く項目が多すぎて煩雑。

発行：豊能糖尿病地域連携クリティカルパス検討会事務局  
大阪府池田保健所 企画調整課 072-751-2990

※豊能糖尿病地域連携クリティカルパス推進事業につきましては下記をご参照ください。

大阪府池田保健所ホームページ <http://www.pref.osaka.lg.jp/ikedahoken/criticalpath/index.html>